

ごあいさつ



皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は兵庫県信用組合【けんしん】に格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も、当組合の業績・事業内容・地域貢献活動への取組み等について、正確でわかりやすくお伝えできよう取りまとめたディスクロージャー誌を作成しましたのでご高覧賜れば幸甚に存じます。

昨年度の国内経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、一部に弱さがありながらも、総じて回復基調で推移しました。しかしながら、長期化するウクライナ情勢に伴う世界的なエネルギー・資源価格の上昇や欧米各国の金融引締め動きが国内にも影響を及ぼし、物価高騰や急速な円安進行など取巻く環境は厳しいものでありました。地域経済に目を向けますと、人口減少・少子高齢化に伴う雇用環境の変化への対応や事業承継等の永続的課題がある中、原材料・仕入価格の上昇ならびに供給制約の影響など厳しい経営環境が続きました。

こうした中で、当組合は「第十次中期経営計画」を始動し、「地域住民の皆さまの幸福と中小事業者の発展のお役に立ち、地域経済の繁栄に貢献する」という組合理念のもと、「取引して良かったと喜んでいただけるコミュニティバンク」を目指し、中小事業者が抱える悩みや課題解決に向けた提案、金融支援はもとよりきめ細やかな経営支援に応じるなどの金融コンサルティング機能を発揮することに努め、ニーズに応じた経営サポートを強化・実践してまいりました。また、個人のライフサイクルに応じた金融商品を提供するなど、お客さま目線の金融サービスの向上に努めてまいりました。

経済や社会がコロナ禍前の活力ある日常に向け新たな段階に進んでおり、また、2025年の大阪・関西万博開催を迎えるにあたり、当組合は、昨年度に地方創生の一環として、兵庫県内の観光資源アピールを応援する活動を行いました。今後も、地域の自治体や関係団体との連携を図りながら、あらゆる分野で地域の発展と活性化に向けた取組みを行ってまいります。役職員一人ひとりが「私たちの元気が地域を支える～ゆるぎない基盤で、ゆるぎない存在に～」という共通認識のもと、よりお客さまの声に耳を傾け、寄添いながら、地域になくてはならない金融機関となり、皆さまの幸福と地域の持続的発展に貢献してまいり所存でございます。

今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

令和5年7月

理事長

橋爪 秀明